

会 議 録

会 議 の 名 称	西東京市教育計画策定懇談会（第2回）
開 催 日 時	平成29年8月23日(水) 午後2時00分から午後4時10分まで
開 催 場 所	西東京市役所防災センター講座室2
出 席 者	<p>【委員】遠藤委員、服部委員、川村委員、三橋委員、田中委員、浅沼委員、本名委員、大橋委員、渡邊委員、石田委員、山村委員、伊藤委員</p> <p>【欠席委員】武藤委員</p> <p>【事務局】岡本社会教育課長、大橋公民館長、中川図書館長、宮本統括指導主事（教育指導課）、河合学校運営課長補佐、近藤学校運営課副主幹、佐藤学校運営課係長、宮崎教育支援課長補佐、和田企画調整係長、齋藤企画調整係主事、利根川企画調整係主事</p> <p>【傍聴人】0人</p>
議 事	<p>(1) 会議録の確認について</p> <p>(2) 計画策定における市民意識調査（アンケート調査）の調査項目について</p> <p>(3) 計画策定におけるヒアリング調査の実施について</p> <p>(4) その他</p>
会 議 資 料	<p>資料1 西東京市教育計画策定懇談会第1回会議録（案）</p> <p>資料2 西東京市教育計画策定のためのアンケート調査の実施概要</p> <p>資料3 西東京市の「強み・弱み」の状況整理表（SWOT分析）</p> <p>資料4 西東京市教育計画策定にかかる市民意識（アンケート）調査票（案）</p> <p>資料5 西東京市教育計画策定のためのヒアリング調査の実施概要（案）</p>
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○ 新しい教育計画への思い</p> <p>前回、E委員からの発言ができなかったため、ご意見を伺う。</p> <p>E委員 図書館協議会からきているので子どもの居場所づくりが重要だと思う。</p> <p>○ 前回代理出席のJ委員から挨拶</p> <p>○ 現計画の基本方針3と4の違いを社会教育課長から説明</p>	

議事

(1) 会議録の確認

資料1を用いて事務局が説明した。

(2) 計画策定における市民意識調査（アンケート調査）の調査項目について

座長

議事(2)計画策定における市民意識調査（アンケート調査）の調査項目について、事務局より説明をお願いしたい。

事務局

（資料2に沿って、アンケート調査の概要について説明）

事務局（委託業者）

（資料3、4に沿って、アンケート案について説明）

座長

中学生用は、ほぼ小学生用と同じだということのため、小学生用について、じっくりと検討したい。

委員

6年前になかった質問で、今回新たな加えたものは問31だけか。

事務局（委託業者）

小学生用については、問7、問9、問13から問20、問31、問38、問40、問41、問46、問49。

委員

問4の家族構成について問う設問について、犬や猫を飼っているかどうか聞くことはできないか。

座長

その他に入れると考えることもできる。

委員

二世帯住宅に関しては、いかが。

委員

現場で質問が出れば「同じ建物に住んでいるなら、入れてよいと思うよ」と対応すると思う。

座長

いろいろなケースを考えるとときりがないので、調査実施段階で先生にお任せする。

委員

兄弟は1つにくくられているが、兄弟関係の上下で違ってくると思う。

事務局（委託業者）

確かに第1子目か、2子目かで傾向の違いはあるかと思うが、実際には今回、小学生用ということで学年を限定して調査をするので、その方の兄弟の中での順番というより、家族構成として質問する形になる。

委員

問7は新しい質問だが、問8で「困っていること」を聞く前に、あえて問7で「楽しくないと思ったとき」を聞いている理由はあるか。

事務局（委託業者）

実際に類似する質問であるが、問5の「学校は楽しいですか」という設問に、「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答された方が、どのような理由でそう思うのか、明確な理由を集計したいという趣旨で準備した設問となっている。

座長

全体を通して、黒帯等を使って、質問に対して誰が答えるかを明確にしてほしい。先ほどの質問の「楽しくない」と「困っていること」という意味は別だと思うが、内容としては似通っているところもある。だれにどのように質問しているのが、まず明確になるようにしていただきたい。

委員

問6の学校の楽しいところを聞く質問について、学校教育ではなく社会教育として、校庭開放と学習機会の提供を社会教育課で始めている。「校庭開放」や「習字、英語等」も挙げるができないか。

座長

子どもにとっては、場所が学校なら全て学校だと思ってしまうが、区別するということで、後半にもっていくということで、いがか。

委員

問9の設問は何が知りたくて加えたのか。

事務局（委託業者）

前は「家での決まりや約束を守っていますか」というところと「学校での約束を守っていますか」というところが混在していたので、両者を明確に分けた。

委員

問8の「学校で困っていることは何ですか」という項目の選択肢5に「先生がきびしい」とあるが、教師が厳しいことが困る原因だということになると、学校現場ではよろしくないかと思う。例えば、選択肢6の「先生が悩みや意見を聞いてくれない」や「先生が一方的で話を聞いてくれない」という表現であればよいと思う。

座長

「理不尽な叱り方をする」「一方的すぎる」という意味を表現したいのだと思う。「厳しい」という言葉は、必ずしも負の意味をもつ言葉ではない。学校現場では、やさしさと同時に必要なものでもあるので、この文言は修正していただいたほうがよい。

委員

小学生用の問6、中学生用の問8で、学校の楽しいところを聞く選択肢3に「授業以外のクラス活動」とあるが、小中学校で「クラス活動」という言葉はあまり使っていない。

座長

「学級活動」とするほうがよろしいか。

委員

選択肢2に「休み時間」があるので、特別活動を指すのかもしれない。

委員

問9について、「学校のきまり・規則」と「友達との約束」は、同列に扱ってよいのか疑問に感じる。子どもにとっては、次元の違うものだと思う。

委員

高学年になると、友達との約束というものは非常に大事なものになる。子どもが回答に迷う可能性があるかと思うので、そもそも「友達との約束を守って生活しているか」という質問項目自体が必要なのか疑問に思う。

座長

「学校のきまり・規則を守っていますか」という設問だと、子どもたちは答えやすく、先生も指導もしやすい。「友達との約束」は削除するということがよろしいか。

委員

問13の質問文の最後の（○は1つ）という文言は不要だと思う。

座長

教科名を書くようになっているが、1教科だけ回答するのか。

事務局

複数でも構いませんので、回答欄を「教科名（いくつでも）」として、括弧を長くする。

委員

問10の登下校時に危険な思いをしたかどうかの質問の選択肢3に「公園などの遊具で遊んでいてケガをした」とあるが、登下校時には寄り道したということになるが、よいか。

座長

ここでは、公園で壊れているものをみつけたという趣旨か。

事務局

この設問は前回にもあったもので、まったく同じ聞き方と選択肢になっている。ただ、子どもたちが日常生活の中で、どれほどの危険度があるのかを知りたいという趣旨なので、登下校時に限定する必要はないと考える。通学路の安全対策を進めているので、そのような面から考えると、問10の選択肢の3を削除し、問10自体は残したほうがよいかもしれない。

座長

では、問10は残し、選択肢3を削除する方向にする。

委員

問 11 で「学校や先生に望むこと」を聞いているが、子どもに接していると、先生のことが大好きで一緒に遊びたいと思っているようなので、ここに「休み時間に一緒に遊んでほしい」という選択肢を載せると、多くの丸が付くと思う。

委員

子どもが教員と遊びたいと思うことはまったく構わないと思う。ただ、教員は休み時間に子どもと遊ぶのではなく、子どもの人間関係や活動の様子を見るということ。教員は仕事なので楽しんではいけない。

委員

選択肢 14 に「先生以外の人と勉強したり、遊んだりしてほしい」とあるが、子どもたちが一番遊んでほしいのは担任の先生だと思う。

座長

「先生と接する時間がもっとほしい」という感じか。

委員

選択肢 11 の「悩みや意見をじっくり聞いてほしい」を膨らませて、接する時間を確保すると解釈することもできるか。

委員

「先生と長い時間一緒にいたい」ということでどうか。

事務局

選択肢案としては「先生と一緒にいる時間がほしい」でよろしいか。

委員

中学生にはそれでよいと思うが、小学生にはどうか。

座長

アンケートを実施する際に、先生に補足で説明していただくということで、いかがか。

委員

小学生用では「先生と遊んだり、一緒にいる時間がほしい」として、中学生用には「遊んだり」という文言を削除すればよいと思う。

委員

学校や先生に望むことに関して、「先生の話を話してほしい」という子どももいると思う。どちらかと言えば、先生は子どもの意見や思いを聞く側だが、子どもとしては身近な大人のことを知りたいと思うものだと思う。

委員

プライバシーに関わる問題なので、その他のところに書いていただくということでもよいと思う。

委員

先生は子どもの情報を詳しく知っている。先生のことは話さず、子どもには聞くということはいかがか。

座長

先生によってご自分のことを語りたい先生と、そうではない先生がいる。

委員

先ほどの選択肢は「先生といる時間」ではなく、「先生と話す時間」としてはいかがか。コミュニケーションをとっている時間ということだと思う。

座長

では、先ほどの選択肢を修正する。

事務局

小学生用では「先生と遊んだり、話したりする時間がほしい」、中学生用には「先生と一緒に話す時間がほしい」でよろしいか。

委員

問 22 で、寝る時間食べる時間を聞いているが、食べることに関してはここにしか出ていない。生活面に関しては、このアンケートでは聞かないということか。例えば、食事は3回食べているかとか、入浴や歯磨きをしているかなど、立ち入った質問になるが、学力が低い子どもは生活面が疎かになっていることも多いという現実がある。貧困等も見えてくると思う。

事務局

健康課で行う食育に関するアンケートや福祉関係で行う健康づくりに関するアンケートで類似の調査を行っているかと思う。

委員

子ども食堂＝貧困というイメージがあるので、「子ども食堂」という名前を出さずに実施している団体もある。できれば固有名詞が載せられると、現状が把握できると思う。

事務局

名称をお聞きして、ここに列記する。ここに「子ども食堂」という文言を使うことは、子どもの自尊心を傷つける心配はないか。

委員

たぶん、子どもたちにとって、無料または安い値段＝貧困とはならない。「無料または安い値段」と明記しなければ、さらによいと思う。

事務局

「子どもが一人でも利用できる」という表現を入れる。

委員

学童クラブに関して、問 24 の平日（学校がおわってから）の選択肢には入らないか。

委員

基本的に学童クラブは小学4年生までで、障害を持つ子どもに関しては6年生までとなっている。

事務局

選択肢（カ）の「地域の行事や活動に参加する」という選択肢を削除して、「児童館」「学童クラブ」「放課後こども教室」を追加する。

委員

選択肢（ア）に「クラブ活動に参加する」とあるが、小学校にはクラブ活動はない。そのように考えると、2つずつ選択できると現実的かもしれない。

委員

クラブ活動は教育課程に準じて扱われているので、放課後の活動にはならない。

委員

問 49、問 50 の回答選択肢の表現について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」は、同じようなニュアンスなので、はっきりとした表現で、1「好き」、2「どちらかといえば好き」、3「どちらかといえば好きでない」、4は「きらい」としてしまってもよいのではないか。

座長

確かに「自分のことが好きですか」という設問に対し、「そう思う」という回答は不自然に感じる。

委員

同様に、問 50 の選択肢も「あると思う」「ないと思う」もはっきりとした表現に改めたほうがよいと思う。

委員

いのちの大切さを扱った設問がない。11 ページに入るのかもしれないが、「他人のいのちも、自分のいのちも大切だと実感できていますか」というような設問も入れることができるとよいと思う。

委員

問 40「市の公民館を利用しましたか」という設問は、小学校 4 年生と 6 年生には、少しわかりにくいように感じる。

事務局

公民館の利用ということは、部屋の利用だけではない。公民館には部屋以外にもロビーもあり、そこでコミュニケーションを取ることも「公民館の利用」だと考えている。

座長

では、問 49、50 に対する回答の選択肢は、明確な表現に改めるということによろしいか。いのちの大切さについての設問の追加については、いかがか。

委員

大切か大切でないかではなく、「実感できている」「実感できていない」「わからない」というような選択肢でもよいと思う。

委員

聞き方が大変難しいと思う。

委員

逆に「いのちは大切なのだ」ということを、こちらから誘導するような設問になっても構わないので、実感できているかどうか聞いていただきたい。自分自身のいのちも大切、また、周囲の人たちのいのちも大切だということが示せるとよいと思う。

事務局

質問のしかたが難しいと思う。もしくは、アンケートの項目として何かを引き出すのではなく、訴えかける質問という形にするか、検討したいと思う。

委員

「自分のことが大切ですか」という表現にしてはいかがか。いのち=自分と考えると、今のご意見の目的が満たされるかと思う。

委員

いわゆる自己肯定感を問っている設問。私は、自分が好きかきらいかという設問は悪くはないと思う。

座長

教育効果としては大事にしていく問題ですが、このアンケートでは特に取り上げることはしないということで、よろしいか。

委員

放課後の過ごし方の設問で、問 24 で「友だちと遊ぶ」と答えた人に対しては、問 25 で「どのようなところに行きますか」と、遊ぶ場所を聞いている。上の質問で過ごし方を聞き、下の質問で場所を聞く形になっている。その回答の選択肢に、児童館や校庭等も入っている。児童館と、学童クラブ、放課後こども教室の扱いについて、整理が必要だと思う。

座長

精査をお願いしたい。

では、中学生用のアンケートに移るが、ほぼ小学生用と同じだということで、中学生用独自の設問に関して、ご意見をうかがう。

委員

一般向けのアンケートの 13 ページにも多少似た質問があるが、中学生に向けて「しつけに関することを学校と家庭どちらから学びたいか」と聞くよりも、括弧内の文言である「あいさつや行儀」を使って設問したほうがわかりやすいかと思う。

事務局

括弧内の言葉を参考に、少し砕けた表現に改めたい。

委員

問 54 では、学ぶところは学校か家庭かとあるが、「どちらも」という選択肢は考えられないか。「どちらともいえない」は少し消極的なイメージだが、「両方から学びたい」という選択肢があってもよいかと思う。

事務局

「どちらともいえない」を削除して、「両方から学びたい」を加え、選べない人は空欄ということでもやむを得ないと思う。

「学校で学びたい」「家庭で学びたい」「両方から学びたい」「わからない」という4つの選択肢としたい。

委員

「学びたい」のか「学んでいる」のか、たぶん「学んでいる」としたほうが考えやすいかと思う。

委員

「学びたい」よりも「学んでいる」のかのほうがよいと思う。「学びたいか」と問われても回答に困り、この質問は必要なのかと考えてしまう。特に、家庭と学校のどちらで学んでいるのかと問われれば答えやすいと思う。

座長

中学生用アンケートに関してはよろしいか。

あと、青少年用と一般市民用のアンケートについて残っている。時間の都合があるので、どうしても修正が必要だと思われるところがあればお願いしたい。

委員

1点目は、青少年用の14ページ、一般用の12ページ、障害のある子どもたちの教育についての設問について、青少年用の問41では「障害のある子どもたちの（特別支援）教育について」、問44では「（特別支援教育など）一人ひとりに応じた支援として」という言葉の使い方をしている。現在の教育計画では、「一人ひとりを大切に」という表現をしているので、ここでの表現も問44に揃えるほうがふさわしいかと思う。

2点目は、問43と問44の選択肢について、選択の設定の仕方にばらつきがあると感じられる。適応指導教室は2か所、名称がでているが、特別支援学級は小学校だけでも4つの学校で8個の学級があるし、特別支援教室も2タイプあるので、選択肢は整理し直していただけるとよいと思う。決定的に抜けているものは、学校の通常の学級の中でどのような支援をしていくのかということ、これは教育計画の中でも打ち出していること。選択肢として「通常の学級での支援」も必要だと思う。学校で行っていること、学校以外の場所で行っていることを再度整理し、網羅して、大きいものから順に並べるという調整を図ったほうがよいと思う。問44に関しても、同様。

3点目としては、一般用のアンケートの12ページ、問33「障害のある子どもたちの教育の充実のために、どのような取り組みが必要か」という設問の選択肢に、「人的配置の充実」という内容を入れてはいかがか。

事務局

特別支援教室を所管している課で預からせていただき、事務局で整理させていただきたい。

委員

「学習支援員」「指導員」という言葉も入れていただきたい。

委員

西東京市の子どもの能力や態度について①「自ら学び、考え、主体的に行動する力」を問われたときに、一般の方が何を基準に「ついている」と判断するのか。②「表現力やコミュニケーション力」では、「地域の方にあいさつをしていますか」という設問であればわかりやすいと思う。ここは、自分はわかるのかという観点で見直していただけるとよいと思う。学校現場で働いている方や保護者に対する設問ではないということ念頭に、検討いただきたい。

委員

問 36 の選択肢にも、「家族や友達を大切にする」とあるが、これは問題ないと思う。

委員

一般用のアンケート 8 ページ、問 23 に地域の活動について参加・協力してもよいと考えるものを聞いているが、地域の手や力が弱くなっている中で、このようなことを聞き出していくことは大変重要だと思う。一方で、何か理由があって参加していない人もいると思うので、2 ページの間 7 で、生涯学習を行うにあたって困っている点を聞いているように、ここでも参加しにくい理由、参加できない理由を聞けば手掛かりが見えてくるかと思う。

座長

他にご意見等はないか。

それぞれの調査票に関して、多くのご意見をいただいた。これらを基に事務局で精査検討していただきたいと思う。

(3) 計画策定におけるヒアリング調査の実施について

事務局（委託業者）

（資料 5 に沿って説明）

(4) その他

事務局

（今後の日程について連絡）

第 3 回は 11 月 28 日（火）午前 9 時から、西東京市役所防災センター講座室 2 にて開催予定

第 4 回は 1 月開催予定

座長

以上で、西東京市教育計画策定懇談会（第 2 回）を閉会する。

以上